

生体の科学

SEITAI NO KAGAKU

Vol.69 No.3 — 2018 May - Jun. **目 次**

特集・生体膜のバイオロジー

特集「生体膜のバイオロジー」によせて 栗原 裕 基 192

I. 理 論

再構成アプローチから明らかになった生体膜の基本的性質 鈴 木 宏 明 193

オルガネラ形態の物理モデリング 立 川 正 志・望 月 敦 史 198

II. 構 造

BARドメインタンパク質と細胞骨格による細胞膜の

構造構築 西 村 珠 子・末 次 志 郎 203

細胞質および核質での脂肪滴の形成 大 崎 雄 樹 208

ラフト構造を介した細胞膜シグナル伝達 鈴 木 健 一 213

III. 動 態

細胞模倣膜の相分離構造と脂肪酸 下 川 直 史・高 木 昌 宏 218

リサイクリングエンドソームを制御する分子機構 田 口 友 彦 223

エクソサイトーシスの分子機構 高 橋 倫 子 227

IV. 機 能

横紋筋の膜構造と興奮収縮連関 武 井 大 祐・竹 島 浩 233

細胞膜を介したメカノセンシング 山 本 希 美子・安 藤 譲 二 237

細胞膜にかかる張力と胚発生 道 上 達 男 242

V. 新技術

セミインタクト細胞リシール技術を用いた

細胞機能解析 國 重 莉 奈・加 納 ふ み・村 田 昌 之 247

マイクロデバイスを利用した人工脂質二重膜による

タンパク質機能解析 神 谷 厚 輝・竹 内 昌 治 252

EMARS 法の開発と膜マイクロドメイン研究への

応用 本 家 孝 一・山 口 亜 利 沙・小 谷 典 弘 258

連載講座 生命科学を拓く新しい実験動物モデル-16

絶滅危惧種アマミトゲネズミの iPS 細胞 本 多 新 263

仮説と戦略

セルフリー合成生物学 前 多 裕 介・坂 本 遼 太・白 木 天 晴 269

分子誕生からの進化距離に基づいた解析による約 35-25 億年前に起こった

遺伝子制御システムの変革と複雑化のしくみの解明 堀 越 正 美 275

次号予告 232 財団だより 257 書評 285 あとがき 286